

1. 移植コシヒカリの生育状況（6/13 現在）

草丈、茎数、葉令、葉色は、昨年や平年より少なめに推移しています。
 今後生育は平年並みに近づくと考えられますので、中干しに入っていない場合は、早急に中干しを行いましょう。

	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉令(L)	葉色
H29	31.1	281	7.9	4.2
H28	35.5	445	8.7	4.2
平年値	33.0	327	8.2	4.4

2. てんたかくの穂肥の施用

1)分施肥体系の場合

- 穂肥は必ず幼穂長2mmを確認して、メルヘン3号を施用しましょう。（下表参照）

<施用時期の目安：5月上旬植えの予測>

<施用量:kg/10a>

1回目 (幼穂長2mmの時期)	2回目 (1回目の10日後)	1回目	2回目
6/27頃	7/7頃	10	10~13

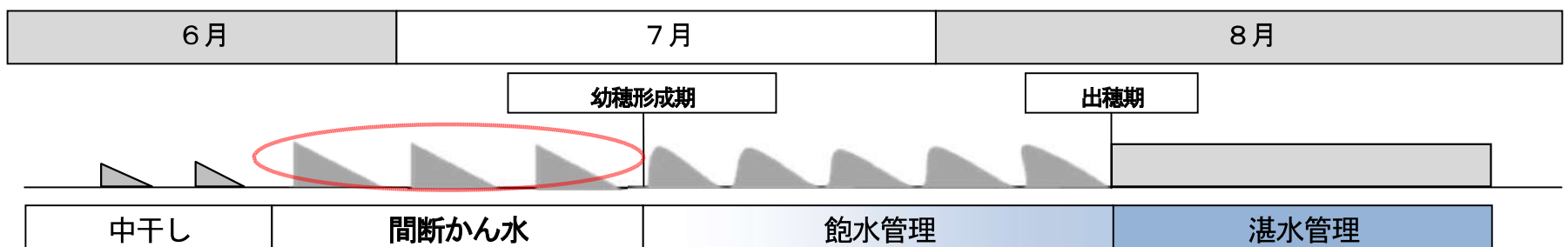
※ 緑肥跡等での作付で生育が旺盛な場合は、事前に営農指導員や普及指導員にご相談ください。

2)基肥一発肥料体系の場合

- 原則、追肥の必要はありません。ただし、6月下旬頃に葉色が4.0を下回りそうな場合は、直ちにメルヘン3号で7kg/10a（N成分：1kg/10a）程度の追肥を行いましょう。

3. 中干し後～幼穂形成期までの水管理

- 中干し後から幼穂形成期までは「間断かん水」を行い、水と酸素の供給と地耐力の確保を行いましょう。



【間断かん水の目安】
 乾きやすいほ場 1～2日湛水→2日落水
 乾きにくいほ場 1～2日湛水→3日落水

4. 紋枯病、ごま葉枯病の防除

- 昨年紋枯病やごま葉枯病が多発したほ場や、出穂前に病斑が確認されたほ場では、次のいずれかの薬剤で防除を行いましょう。

病害名	薬剤名	散布量	散布時期（粒剤と粉剤は散布時期が異なるので注意）
紋枯病	モンガリット1キロ粒剤	1kg/10a	出穂3～4週間前 ※粒剤は施用後4～5日程度湛水状態を保ち、7日間は落水しない
	モンカット粒剤	3～4kg/10a	
	モンカットファイン粉剤20DL	3～4kg/10a	てんたかく：出穂14日前頃 コシヒカリ：出穂10日前頃 てんこもり：出穂7日前頃
	モンカットフロアブル	1000～1500倍に希釈して150リットル	
ごま葉枯病	ブラシン粉剤DL	4kg/10a	穂ばらみ期～穂揃期